

2022年2月10日

平和不動産株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、平和不動産株式会社（代表取締役社長 土本 清幸、以下「平和不動産」）様と、本商品にて証書貸付契約を締結いたしました。また、MUFG ESG 評価において、「業界をリード」と最高評価である S ランクを取得しました。

平和不動産は、中期経営計画「Challenge & Progress」において目指す姿として、上場不動産会社としての「株主価値の向上」のみではなく、街づくりに貢献する会社としてサステナブルな社会の実現への貢献を目指す「社会価値の向上」も掲げております。

そのため、重要施策として「サステナビリティ経営の実践」を設定し、環境、社会、ガバナンスそれぞれについて、具体的な取り組み・KPI を掲げ、企業活動を通じて社会課題の解決、SDGs への貢献に取り組む姿勢を示しています。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

環境側面（E）：

- ✓ 代表取締役社長を最高責任者としたサステナビリティ委員会の下で、2030 年までの中長期 GHG 排出削減目標の策定や、その達成に向けた削減活動の推進、積極的な再生可能エネルギーの導入などを実施されている点
- ✓ TCFD フレームワークに沿ったリスク・機会の分析及び対応、間伐材の積極的な利用や「KITOKI」プロジェクトの実施など、事業サプライチェーンを通じて積極的な環境負荷の低減に取り組まれている点

社会側面（S）：

- ✓ 健康と安全やダイバーシティ、人材マネジメント、サプライチェーン、地域社会への貢献、人権・労働基準といった 6 分野での方針を策定・開示されている点
- ✓ それらの各分野にて KPI を設定の上、労働安全衛生のリスクアセスメントや人権教育、顧客の安全性向上といった、社内外に対する様々な取組を積極的に推進されている点

ガバナンス側面（G）：

- ✓ 取締役の選任において、スキルマトリックスや明文化された選任基準を設定されている点
- ✓ リスク管理委員会において全社を通じてリスクを管理・対応されており、企業行動憲章や行動規範の周知徹底といったコンプライアンス意識が非常に高い点、第三者機関を交えて適切に実施している点
- ✓ 取締役報酬の決定に係る意思決定プロセスの透明性・客観性を担保している点

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上